

平成21年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける課題の指定について

平成21年5月21日
総合科学技術会議

平成21年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける調査研究として、下記の課題を指定することとする。

記

1. 課題名

新型インフルエンザ対策に資する緊急研究

2. 担当府省

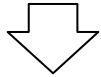
文部科学省

厚生労働省

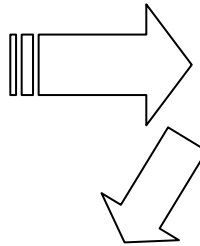
新型インフルエンザ対策に資する緊急研究

背景

- ・メキシコや北米を中心とした世界的流行
- ・我が国での感染者の発生、拡大
- ・今冬にも想定される流行第2波の懸念



研究開発



臨床現場での早期診断等の体制の構築

- ①簡便、迅速かつ正確な病原体診断方法を開発するとともに、約半年間で現場での実用化を図る。
- ②医療機関における早期診断法の活用方策等を検討する。

国立感染症研究所

国立国際医療センター

理化学研究所・東京大学医科学研究所

国内発生状況の早期把握及び政策決定への反映

- ①過去における流行株との関係等を血清学的に把握する。
- ②新型インフルエンザウイルスのサーベイランス体制の構築について検討する。
- ③上記①②を元に国民への情報発信、リスクコミュニケーションの確保につなげる。

国立感染症研究所
・感染症情報センター
・インフルエンザウイルス研究センター

期待される効果

- ・懸念される今冬の感染拡大(第2波)時における迅速な診断・治療体制の確保
- ・ウイルスの国内まん延防止